

令和7年大磯町議会

9月定例会総括質疑（9月5日）

質問議員	質問事項
1 8番 鈴木 京子議員 (40分) 9:05～9:45	<p>令和6年度予算の総括質疑で質問した項目はどのように執行されたか、5項目について問う。</p> <p>1. 「町民まんなか元年」について、いろいろな機会において、町民は自分たちが「まんなか」にいる実感が得られたと考えるか。</p> <p>2. 町の考えを決める際に、町民参加のプロセスを大切にしたいと町長は表明された。自治基本条例に基づき行財政運営を行う上で情報や会議の公開や参加、パブリックコメントや「まちのこえ」などで意見聴取を行うとのことだったが、新庁舎整備における町民説明会はどのような位置づけで行ったのか。「まちのこえ」への回答件数は皆無である。このことをどう総括するのか。「こえ」が届いても回答しなかったのか。「こえ」は届かなかつたのか。</p> <p>3. 子どもから30代まで範囲が拡大された大磯町こども計画を策定したが、当事者の皆様に寄り添った具体的な施策と目標年次は示したのか。</p> <p>4. いろいろな法人や団体と防災協定を結んだが、安全・安心を町民に見える形で伝えることはできたか。</p> <p>5. 大磯スタイルの防災でSNSでの発信は増えたが、高齢者や障がい者への利用状況は把握されたか。防災ミーティングなど、防災に関する多方面からの指摘の課題整理の進捗は図られたのか。</p>
2 10番 おかみゆき議員 (30分) 9:45～10:15	<p>令和6年度施政方針において町長は「町民まんなか元年」を掲げた。町民参画を基点に、安心できる暮らしの実現、人口減少対策の深化、行政サービス再構築といった方向性は大変共感できるものである。</p> <p>しかし現実には、待機児童問題が依然として残り、子育て世代が安心して定住できる環境は十分とは言えない。また、新庁舎問題も構想から7年が経ち、総事業費72億円を超える規模となってしまった。物価高騰が叫ばれる社会情勢の中、今立ち止まれば事業費がさらに膨らむ恐れもある。</p> <p>こうした状況を踏まえ、町民サービスの向上と定住促進につながる魅力あるまちづくりとして、令和6年度の成果がどのようなものであったか、町長の考えを伺う。</p> <p>1. 「町民まんなか元年」について 令和6年度に実施した様々な町民参画はどのように行政運営に実際に反映されたのか。</p>

	<p>2. 子育て・人口減少対策と定住促進について 医療費助成や給食費無償化などの施策は評価できるが、待機児童の多さが依然として課題となっている。「安心のまちづくり」を掲げる以上、子育て世代の不安をどのように取り除いたのか。 また、出生数や転入増加といった数値的成果をどのようにとらえたのか。人口減少そのものに歯止めをかけることは全国的にも困難であり、大磯町だからこそできる「人口流出の防止」や「社会増を実現する魅力あるまちづくり」が必要ではないかと考える。 令和6年度の成果を数字的根拠に基づき、推移なども示しながら、町長はどのように認識しているのかを伺う。</p> <p>3. 新庁舎整備事業について 平成30年に検討を開始してから7年が経過してなお着工に至らない現状を踏まえ、町長はどのように総括されるのか。 総事業費は現在約72億円を超え、従来より約40億円増となっている。物価高騰が続く中、今立ち止まればさらに事業費が膨らむ恐れもあるが、この増大のリスクにどのように対応するつもりか。事業の遅れが生じた令和6年度の取組みについて、進捗とその成果について町長の見解を伺う。</p>
3 9番 石川 則男議員 (40分) 10:35～11:15	<p>1. 令和5年度の「人口減少対策元年」から令和6年度施政方針のテーマが「町民まんなか元年」になったが、1年間取り組んだ結果、主な課題を3つ挙げるとすれば何か。</p> <p>2. 令和元年二宮町では通いの場参加者は延べ2万人を超えるが、大磯町では0と池田町長が県議の時話があったが、令和6年度大磯町の「通いの場」参加者増加に向けどう取り組み何人くらいになったか。主な課題は何か。</p> <p>3. 津波に対する避難方法として津波の到達時間とそのスピードを考えた「最も命を守る方法」は町としてどう指導したのか。</p> <p>4. 「子育て」「教育」「福祉・健康」には「保育士・教師・介護士」の確保と待遇改善が欠かせないと考えるが、令和6年度町はどう取り組んだのか。</p> <p>5. 「行政機関」について「新庁舎」の完成が令和11年2月末日とのことであるが、何故ここまで遅れたのか。</p> <p>6. 役場組織の活性化として取り組んだことは何か。</p>
4 13番 庄子 幸太議員 (40分) 11:15～11:55	池田町政の「大磯をもっと前へ～町民まんなか元年～」そして、町民一人ひとりが主役になれる予算を編成したが、その執行した決算状況と令和8年度に町の最上位計画である「大磯町第五次総合計画後期基本計画」の策定に合わせて、関連する諸計画を再検証していることを踏まえ、その所見を伺う。

	<p>1. 人事院勧告よりさらに踏み込んだ職員給与費の引き上げや若手職員とのコミュニケーションを図るなど、風通しを良くするための組織改善策に着手しているが、その総括は。</p> <p>2. 大磯町公共施設等総合管理計画に関して、物価高などを背景に新庁舎整備事業予算が執行できない状況となつたが、その総括は。</p> <p>3. 令和5年度の「人口減少対策元年」から「町民まんなか元年」とし、高齢者を包含した施策に広げていくという意思表明をされたが、「通いの場」や防災体制、健診充実などは十分に執行されたと考えるか。</p> <p>4. 財源確保策について、特に注力しているふるさと納税などの寄附金や税外収入はこれまで大きく伸ばしてきた一方、上げ止まりの傾向が見られる決算と映るが、その総括は。</p>
5 1番 玉虫志保実議員 (30 分) 13:00～13:30	<p>令和6年度のテーマは「町民まんなか元年」で、「町が取り組む事業において、町民の皆様が何を必要とされていて、どのように進めて行くのか、しっかりと対話をすることで、町民の皆様のお気持ちやお考えを十分に伺っていく事を意味する」と町長は令和6年度の施政方針で述べている。</p> <p>令和6年度の事業は実際に町民の気持ちや考えを十分に聞いて、進めることができていたのだろうか。</p> <p>町長就任直後の安易な方向転換の余波を受けている事業や予算書に記載のない事業など、令和6年度の主な事業の予算執行についての実績と効果など、令和6年度7つの主要事業「子育て」「教育」「福祉・健康」「地域（経済）活性化」「自然・生活環境」「防災（安全・安心）」「行政機関」から以下の点についての町長の考え方、総括を伺う。</p> <p>1. 子育てについて</p> <p>大磯幼稚園認定こども園移行事業は、令和6年4月に開園予定で進めていた事業であったが、町長就任後に町立て進めようとしたことで、令和6年当初には、「開園が2年遅れて大変申し訳なく思っている。」ということであったが、3年遅れて令和9年の4月に開園予定となってしまったことと学童保育が併設できなくなつたことについて。</p> <p>2. 教育について</p> <p>いじめを未然に防ぐ取組みとして、道徳を中心とした心を育む授業の充実と「心の健康観察アプリ」導入の効果について。</p> <p>3. 健康・福祉について</p> <p>横溝千鶴子記念障害福祉センターリニューアル工事は、障がいをお持ちの方の更なる活躍の場として、町民の皆様に飲食等を提供する「農家レストラン」や「福祉ショップ」の開設を進めると</p>

	<p>あったが、完成後の実績や効果は。</p> <p>4. 地域活性化について 新たな魅力創出のために民間事業者と取り組むとした旧吉田茂邸モデル実証事業について。</p> <p>5. 行政機関について 新庁舎整備事業の庁舎の完成予定時期については、令和7年度を目標としていると令和6年施政方針にはある。2年間での完成を目指していた令和6年度初めの考えが、令和10年5月完成予定、令和11年2月完成予定と変更したことについて。</p>
--	--

5名 23問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。